

令和6年5月2日  
石川県選挙管理委員会  
(内線 3548)  
(外線 076-225-1282)

### 新有権者のメッセージ募集について

石川県選挙管理委員会及び石川県明るい選挙推進協議会では、明るい選挙推進事業の一環として、高校生を対象に、「初めての投票」をテーマにした新有権者のメッセージを募集します。

締め切りは令和6年9月6日（金）、応募方法は別添チラシのとおりです。

応募先（お問い合わせ先）

石川県選挙管理委員会事務局 （076-225-1282）



# 令和5年度の優秀作品は次のとおりです！



テーマは「初めての投票」だよ。  
「初めての投票」について、自分の意見や考えや伝えたいことなどを  
メッセージにして、応募しよう！

## 石川県選挙管理委員会委員長賞

私は、今年誕生日がくると有権者となる。選挙についての授業もあり、投票について学んだこともある。それでも実感がわからない。しかし、選挙は自分たちの政治に対する意志表示ができる重要なものだ。投票率が低いといわれている今の時代だからこそ、私たちのような新有権者が政治と向き合いよく考えて投票するべきだと思う。

石川県立穴水高等学校 3年 松木 優奈

## 石川県明るい選挙推進協議会会長賞

国民の代表となる議員を選ぶのは私たち国民だ。だから、選ばれた側だけでなく、選んだ側にも責任があるはずだ。私はそこで参加しないという選択肢を取りたくない。なぜならそれは責任を誰かに押しつけているようなものだからだ。社会の未来を作っていくのは私たちである。よりよい未来を作っていくために一票に責任を持って投票しに行きたい。

石川県立七尾高等学校 1年 竹津 緋七乃

## ～優秀賞～

「たった一票で結果は変わらない」と現実から目を背けている限り、私たちの声が政治に反映されることはない。大切なのは、社会の一員であるという自覚と責任を持ち、自分の意志で選挙と向き合うことだ。自分の目で見て、情報を集め、貴重な一票に思いを託す。そのたった一票を積み重ねた先に明るい未来が待っていると私は思う。

石川県立七尾高等学校 1年 原 彩葉

僕はこの年齢になるまで選挙の意味なんて知らずと思わなかった。しかし実際に調べてみると、公約には自分達の学校や県に関わっているものが多いと知った。自分の一票で候補者が当選して、その人の公約が自分たちの生活に反映される。つまり、生活と選挙は想像以上に深くつながりあっている。そのことを考えて慎重に投票をするようにしたい。

石川県立金沢伏見高等学校 2年 小山 雅裕

選挙は私達の意見を伝える場である。これからの世代を担う私達が投票をしなければ、新しい世代の政治が行われることはない。新有権者の私達が、新しい世代を作っていくのである。投票をすることは、難しいことではない。投票所へ行けばやり方は全て教えてくれる。これから先の新有権者のためにも、私達から投票することを習慣にしていこう。

石川県立穴水高等学校 3年 松村 光流

有権者が十八歳以上の人も対象になったことで、私たち高校生の意見を主張することができるようになった。しかし、私以外の方が投票してくれるだろうから私は投票しなくていいと考える人が多い。たった一票でも、社会を変える確かな一票だ。自分たちにはそういった権利が与えられている。自分の意志で、自分の意見をもって投票したいと思う。

石川県立羽咋工業高等学校 3年 澤森 清孝